

第48回 長崎県小学生バレーボール大会 審判上の注意

本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則に則して行う。

1 セット開始時におけるサービングオーダーの確認について

- 「セット開始時におけるサービングオーダーの確認」の際は、胸の前で手をたたいたりせずに胸の番号がきちんと見えるようにして立っておくこと。立つ際には、アタックラインからエンドラインに向けて副審の方を向いて、サーブ順に並ぶこと。控えの選手は、ベンチ前に並ばなくてよい。

2 記録員のサーバーチェック及び記録用紙について

- 記録員は、サーバーが正しいことを確認したらうなずき、主審に知らせる。
もし、サーバーが違う場合は、手を上げて口頭で主審・副審に知らせる。

3 試合前後のあいさつについて

- 試合前の相手選手とのあいさつ・握手、チームキャプテンの試合前後の審判へのあいさつ・握手は行う。

4 ロングサーバー（サーブ順の間違い）について

- 記録・副審がサーバーの間違いに気づけば、『サーバーが違うよ！』と教える。
『○番だよ！』とは教えない。ゲームキャプテンから『何番ですか？』と聞かれれば教える。
- 記録・副審がサーバーの間違いに気づかず、正しくないサーバーがサーブを打ってしまった場合は、チームの責任として反則になる。
- 起こってしまった場合の処置は、反則なので相手に1点入る。サーブ順を間違えたチームのサーバーの時に得た得点は無効になる。相手チームが得た得点はそのまま生きる。

5 審判について

- 男子・女子・混合パートは、三角リーグの試合をしていない1チームで行う。
- 推薦パートは、組み合わせ表に表示。（1、2試合目は2チーム審判）
- 決勝戦は各パート2位の2チームで行う。

6 クイックサブスティテューション及び監督のタイムアウトの要求について

- クイックサブスティテューションを適用する。但し、監督がタイムアウトを要求する場合、必ず、①立ち上がって ②ハンドシグナルを使って ③口頭で要求すること。

7 テクニカルタイムアウトについて

- テクニカルタイムアウトは、選手の健康と安全に配慮して、給水のためのタイムアウトとして適用し、給水の準備をしなければならない。その際、30秒間は指定の場所にとどまり、吹笛後は、すみやかにコートに入るようにする。第1セットでは11点目、第3セットでは8点目に達したとき、30秒間のテクニカルタイムアウトをとる。ベンチスタッフは、選手の所へ行く場合、健康観察の声かけ程度とする。